

我が国の伝統音楽研修講座

8月20日（火）・21日（水）2日間

募集人数 30人

対象校種 小・中・高・特

学習指導要領では、我が国や郷土の伝統や文化に関する学習の充実が求められています。

児童・生徒が、伝統音楽のよさや美しさを味わえる授業づくりの第一歩として、我が国の伝統的な歌唱や和楽器の演奏を体験してみませんか？

● 携行品

箏・三味線・尺八の中から
いずれか一つの楽器

● 講座内容

第1日 8月20日（火）

講義・実技「我が国の伝統的な歌唱」

今年長唄「勸進帳」を取り上げ、発声の仕方、抑揚、間の取り方などを、実技を通して体感していきます。

実技「和楽器の奏法1」

箏・三味線・尺八のいずれか一つを選び、実技を通して奏法やメンテナンスについて、基礎から学ぶことができます。講師は、本講座で長くご指導いただいている専門の方です。

第2日 8月21日（水）

実技「和楽器の奏法2」

「和楽器の奏法1」に続いて基礎的な奏法を学び、「さくら」などを演奏します。

鑑賞・実技「和楽器を用いた表現」

研修した成果を楽器ごとに発表したり、三曲合奏を体験したりします。また、楽曲や楽器の解説を交えながら、講師の先生方による演奏を鑑賞する時間もあります。講師の先生方が奏でる和楽器の音色を間近で感じることができる、貴重な機会です。

講義・実践発表「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくり」

2日間学んだ和楽器の奏法を生かして、どのような授業を行うことができるのか、学習指導要領の内容や実践発表から、授業づくりのヒントが得られます。